

## これからの親と子供たちのために、安全で安心な道路を

住宅の密集するまちでは、子供を遊ばせたり散歩したり運動したりするためには、家の近くの公園や町の中心にある大きな公園に行かなければならない。手段は徒歩、自転車、車とあるが、どの手段にしても安全・安心とは限らない。特に小さな子供とその親にとって危険は多い。既存道路を歩行者専用とする時間帯を設けたり、子供が遊ぶための公園周辺の道路を駐車スペースとして利用することで、公園がもっと利用しやすいものになってほしい。

また、これまで道路は車優先で、車の走りやすさが求められていたと思うが、これからは人が歩きたいと思う道を積極的に作ってほしいと願う。

結婚して、産まれ育った土地を離れ仕事も辞めて、私は車を運転することがめっきり少なくなった。

以前は今より田舎に住んでいたせいか、すぐ近くでも車を利用していたが、今では日々の用事はほとんど歩きか、バス、電車となった。交通手段の発達したところに越してきて初めて、歩くことの楽しさを見いだしつつある。

歩いていれば、何よりもその日そのときの季節を体中で感じるができる。私が一番好きなのは、寒い冬がようやく終わり、暖かくなり始めるころ。街行く人だけでなく、花壇に植えられた花も、そこに住む虫たちも皆生き生きとした様子で、少し大げさかもしれないが、全ての生命にいとおいさを感じるのだ。

しかし、歩くことが多くなったからこそ感じ始めた不快なことがいくつかある。それは車。せまい裏道を猛スピードで走り行く車。信号のない横断歩道を渡ろうとするのに止まってくれない車。個人のモラルの問題かもしれない。しかし個人のモラルに訴えることで、そんな行為が少なくなることはあっても、無くなるとはとても思えない。

### 歩行者専用時間を作って、安全で安心な道

主婦として「生活する立場」から見れば、「安全・安心」が何より重要なこと。経済のためや車のために道やまちを整備するのと同じレベルで、人間自身が安全で安心して暮らせるための道やまちを積極的に整備する必要があると思う。

私のお腹には今、初めての子供がいる。この子には外で元気に遊べる子供になって欲しいと思っている。子供にとっては、公園や学校だけでなく、家の前の道や、公園・学校へと続く道も立派な遊び場となり得るはず。しかし、最近、道で遊ぶ子供を見かけることは少ない。危険いっぱい遊ぶはずはないのだ。そんな子供にとって、公園や学校は貴重な遊び場。でも、そこへのアクセスが危険いっぱいなのだ。

近くの公園で子供を遊ばせたいとき、公園までの危険な道を歩いていかなければならない。歩行者専用道が新たにできればそれに越したことはないがそれは難しいだろう。だったら現状の道路のままで、歩行者専用時間を設けたらどうか。公園までの道路が昼1時から4時ごろまで歩行者専用だったら、安心して連れていくことができるのに、と思う。家から公園までの区間の一部分であっても、人が安心して歩ける時間、空間を大いに作ってほしいと願う。

大きな川のあるまちでは、河川敷に駐車場を整備して親水公園を作ったりして、子供からお年寄りが安心して居られる空間が増えているように思う。無料の駐車場があることは利用する人にとってはとても重要なことだと思う。まちのなかの大きな公園でも無料の駐車スペースがあれば、と思

う。公園内に駐車スペースを設けるのが難しければ、周辺道路を駐車スペースとして利用することができないのか。通常、公園周辺は駐車禁止の標識だらけのように思うが、例えば日曜日の朝10時～昼3時までが路上駐車場として利用できれば、遠くても毎週子供を連れていくことができる。

#### 歩きたい道づくりは快適なまちづくり

今までの道は車を通りやすくすることで発展してきた。しかし、これからはもっと人が歩きたいと思う道も作ってほしいと思う。例えば、すてきな並木道は散歩したいと思うし、その道の途中でちょっと休憩できるような場所があれば小さい子供からお年寄り、私のような妊婦も安心だ。個人的にはカフェやすてきなパン屋さんなどがあればなおうれしいが、ベンチだけでもあれば途中、疲れてもちょっと一息できるのに、と私は常々思っている。

また、きれいに整備された道沿いにきれいな花を植えてあるのも良いが、散歩の途中で摘んで帰れるような草花のある道も魅力的だし、摘んでも摘んでも生えてくるミントなどのハーブ類のある道も近くにあるとうれしい。

人が道路を安心して歩ける時間を増やすことで、人は快適に歩ける道を望むようになる。人が快適に歩ける道が増えることは、まち全体が快適なまちへと変わることになると思う。